

青年部実践研修 I

平成 30 年 11 月 5 日(月)～6 日(火)、KKR ホテル熊本にて青年部実践研修 I 平成 30 年度熊本県保育士等キャリアアップ研修「保育実践」研修が行われ、熊本県内より 47 名の受講者がありました。はじめに、熊本市保育園連盟青年部部長の竹下賢一が開会の挨拶を行い、その後研修に入りました。

畠村 卓氏「保育と絵本」

研修①では、元小学校校長の畠村卓氏により「保育と絵本」について講演いただきました。読み聞かせは心と心がつながるものであるということや、子どもの発達段階に合わせて絵本の選書を行うことなど、たくさんの学びがありました。



野元 知明氏「運動遊び」

昼食後の研修②は、T-STEP 代表の野元知明氏による「運動遊び」をテーマにした研修でした。ここでは、体験や記憶が潜在意識になるため幼児期はとても大切であること、また小さい「できた」を積み重ねて達成感が味わえるようにすることが重要であることなどを教えて頂きました。

島本 大地氏「バルーンアートあそび」

研修③では、島本大地氏による「バルーンアートあそび」が行われました。バルーンアートの基礎であるひねり方を学びながら、犬やハート、クリスマスボールなど様々な制作が行われました。実践メインの研修であり、また島本氏の絶妙なトークが冴えわたっていたこともあってか、終始和やかな雰囲気の中で制作に取り組むことができました。



坂口 京子氏「絵本で遊ぶ えほんを遊ぶ」

夕食後には、RAFiT 代表の坂口京子氏による「絵本で遊ぶ えほんを遊ぶ」をテーマにした研修が行われました。絵本遊びでは声・表情・笑顔が大事であること、活動に入る前の導入において絵本は想像力が広がるためとても良いなどの内容でありました。パラバルーンやボールを使い絵本を表現する等の実践もあり、とても充実した研修となりました。

佐藤 律子氏「子どものあそびと表現について」

NPO 法人 あそび環境 Museum アフタフ・バーバン 佐藤律子氏は、子どもとあそぶ時には、対等でありながら冷静に見る視点が大切だと語られました。思いやりの心を育てるためにあそぶのではなく、あそんでいたら思いやりの心が育つことが大事だということを教えていただきました。子どものあそびと表現をしっかりと見つけ あげることの重要性について、実技を交え学ぶことが出来ました。



入江 浩子氏「あそびうた」

現役保育士で、すかんぼというグループで活動をされている入江浩子氏。元気いっぱいの歌を通し、参加者も元気をもらい、一緒に歌って笑顔があふれていました。手遊び、まねっこあそび、ふれあい遊び、体操、パネルシアター、ダンスなど沢山の体験をしました。実践に活かせる研修となりました。

吉津 昌子 氏「音楽あそび」

熊本学園大学 准教授 吉津昌子氏からはリズムに合わせて、ボールを回すあそびを通し、ボールをつかむこと、隣に正確に渡すこと、テンポを合わせることで他者への気づき、多感覚への刺激等の体験を学びました。「聴くこと」「歌うこと」「演奏すること」「音楽を使ってあそぶこと」で、子どもの発達に寄り添うことが大切であるとお話されました。



この研修は実務経験が少ない保育士に対し「基礎的な知識や技術を有する保育従事者を育成する。」ことを目的とし実践中心に企画しました。2日間に渡る研修でしたが、参加者からも笑顔があふれる学びとなりました。今回の研修で学んだことを園に持ち帰り保育に活かしてほしいと思います。

青年部実践研修 II

平成 30 年 12 月 5 日（水）熊本パレア 10 階にて、社会保険労務士法人 上田事務所 副所長 大野佳子氏をお招きして、「若手管理者向け労務研修」というテーマで研修を行いました。働き方改革や同一労働同一賃金等、今後の労務管理対応策だけでなく、良くある勘違いやミスを具体的に教えていただきました。代休と振替休日の違い、欠勤控除と割増賃金について、処遇改善Ⅱの基本単価の増加等、初任者から上級者まで学べる有意義な研修となりました。さらに研修終了後、個別相談もご対応いただき、丁寧に学べる研修となりました。



H.U.G プロジェクト

HUG プロジェクトは、日本保育協会青年部が中心となり、6 年前に活動開始。東日本大震災によって外遊びが出来ない子どもたちに思い切り遊べる機会を作ろうということでイベント型の活動を年 1 回行ってきた。今は、福島県としても外遊び等への規制はほとんどなくなっている状況。それらを踏まえて、イベント型の活動はいったん終わり、今後は、保育者への普段受けられないような研修等を企画している。2017・2018 年は、熊本地震からの復興支援との兼ね合いもあり、熊本で開催された。

熊本市 幼保連携型認定こども園 やまなみでは、トランポリンとバランスボードを使った活動が行われました。子ども達は、大型のトランポリンに目を輝かせながら、回数を重ねていくうちに高く跳べるようになっていきました。バランスボードでは、ランダムに組まれたバランスボードに頭と全身を使いながら挑戦していく姿が見られました。



熊本市のあゆみ保育園では阿蘇自然遊び（グループ遊び）が行われました。パネルを使った遊びや、歌なども交えてのグループ遊びに子ども達からも笑顔が見られました。グループ遊びを通して、話をしっかりと聞く事、みんなで一緒に遊ぶことの楽しさを教えていただきました。



山鹿市の三玉保育園では、日本保育協会青年部のサッカー経験者が中心となり、サッカー教室が開かれました。リフティングパフォーマンスにはじまり、ボールを使わないレクリエーション、ボールを使っのパス練習、シュート練習、ゲームへと続けました。あまりボールになれていない子どもたちも積極的にサッカーを楽しむ様子が見られ、みんなでいきいきとボールを追いかける姿がとても印象的でした。



合志市はあもにい保育園園庭にて、「ストライダー」を用いた遊びを実施しました。講師に熊本県出身の守上大輔（もりがみだいすけ）氏とバイクトライアル世界チャンピオンの有蘭啓剛（ありぞのけいごう）氏のお二人に来ていただき、子ども達に“やれば出来る！”を伝えて、「諦めない心」「チャレンジ精神」「向上心」を重点においた、楽しみながらできる交通ルールや運動能力向上となる遊びを展開していただきました。また、講師たちによる子どもたちの背丈より高い場所をバイクにまたがった状態で飛び越えるアクションなど度肝を抜くようなパフォーマンスを目の当たりにした子ども達が目をキラキラさせている姿が強く印象に残り、子ども達や保育士にとっても大変貴重な体験となりました。



第5回九州保育三団体青年部協議会研修会 福岡県大会

平成30年10月18日（木）～19日（金）にかけて、第5回九州保育三団体青年部協議会研修会 福岡県大会が、ソラリア西鉄ホテルにて開催されました。大会テーマを『魁!! 青年塾』と題し、1日目は、体験と座学に別れての研修会が行われました。

保育業界を中心にコンサルティング事業を展開する中島昭聡氏による体験研修では、職員間のチームワークの向上にとって実践的な内容であり、また子育てに悩む親達の支援に取り組む土井高德氏、保育マネジメントに従事する関山浩司氏による座学研修は、大変参考となるものでした。

2日目、門田理世氏による講演会では、これからの保育業界の可能性を述べられ、保育人として大いに励まされる思いがしました。続く、特別記念講演では、小久保裕紀氏が登壇されました。数々の業績を残した偉大な野球人の言葉は魅力的で、体験談も交え、大変感銘を受けるものでした。2日間に渡る研修大会は、充実した内容で、盛況のうちに幕を閉じました。



平成30年度九州保育三団体青年部協議会セミナー in 熊本

平成31年1月17日（木）KKRホテル熊本にて、「平成30年度九州保育三団体青年部協議会セミナー in 熊本」が開催されました。はじめに主催者である熊本県保育協会青年部部長の緒方淳一が、開会の挨拶を行い、研修に入りました。研修は、九州ルーテル学院大学人文学部人文学科教授の永野典詞氏により、「管理者からの視点で考える！学びと遊びを繋ぐかたち」というテーマで行われました。



乳児保育園の園長でもあられる永野氏より、人材育成やマネジメントの考え方、リーダーシップについて等お話しいただき、またその中で行われたグループワークでは他園の状況や他の先生方の考えなども聞くことができ、とても充実したものとなりました。

その後、代表者会議に続き、情報交換会が行われ、大盛況のうちにセミナーは幕を閉じました。

熊本県保育協会青年部 特別セミナー

平成30年11月21日（水）熊本県民交流館パレアにて熊本県保育協会青年部特別セミナーが行われました。社会福祉法人たちばな福祉会 RISSHO KID'S きらり園長 坂本喜一郎氏に講演していただきました。神奈川県相模原市の商業施設2階に園舎があり、園庭はないが、園の外に出ていくことで問題点をクリアしているとのことでした。その他にも、子どもの居場所を大事にするために、子ども用のロッカーに職員が立ち入



りが禁止であったり、屋根裏部屋のような子どもの隠れ家があるということ、子ども達にとって「くつろぎの場」が大切であるということをお話いただきました。実体験のお話だったので、子ども主体の協同的な学びについて、普段の保育を見直すことができる貴重な研修となりました。

一般社団法人長崎県保育協会青年部 設立20周年記念事業

平成30年11月19日（月）一般社団法人長崎県保育協会青年部 設立20周年記念事業がザ・ホテル長崎 BW プレミアムコレクションにて行われました。開会宣言後、トークセッション『Talk JAM Session』～日本の保育・世界の保育・未来の保育～と題し研修が行われました。聴講者もトークに参加できるよう工夫を凝らした企画でした。登壇者に堀 昌浩 氏（認定こども園さくら 園長）、妹尾 正教 氏（社会福祉法人仁慈保幼園 理事長兼統括園長）、本藤 潔 氏（菊池さくら保育園 園長）、谷口 剛 氏（認定こども園小迎こども園 園長）、脇 信明 氏（長崎大学教育学部 人間発達講座 准教授）、小西 祐馬 氏（長崎大学教育学部 人間発達講座 准教授）、司会進行は吉岡 伸太郎 氏（おひさま保育園 園長）でした。保育所保育指針について、子どもの貧困について、人口減少地域における乳幼児教育・保育対策に関することについてと様々な角度からトークセッションが行われました。現状の保育の確認、これからの保育についても考えさせられる貴重な研修となりました。



情報交換会では、歴代部長の表彰や挨拶、ゲーム大会が行われ、一般社団法人長崎県保育協会青年部の設立20周年を盛大にお祝いすることができました。



2日目の11月20日（火）は、マツバラスポーツQスタジアム（屋上フットサルコート）にてスポーツ交流として各市県のチームでフットサルが行われました。子ども達と一緒に楽しめるウォーミングアップを教えてくださいながら準備運動を行い、フットサルを楽しみました。白熱するゲームに会場は大盛り上がりとなり、これからのつながる学びの深い2日間となりました。

青 年 部 会 員 募 集 !

当青年部は、一般社団法人熊本県保育協会、一般社団法人熊本市保育園連盟の保育事業における青年保育者の貢献を高めると共に、児童福祉の増進に寄与することを目的とし、若手青年保育者が集い、真剣に学び、楽しく語り合い、明日の保育を作り上げていきます。

企画研修委員会：研修の企画、実施

調査広報委員会：機関紙の発行、保育情報の調査・発信

入会資格

熊本県保育協会、熊本市保育園連盟 会員園の職員で、
45歳未満であり、魅力ある園づくりに取り組みたい人。

お問い合わせ

熊本県保育協会 青年部

TEL 096-322-0038

FAX 096-322-0090

<https://k-hks.sakura.ne.jp/wp/>

熊本市保育園連盟 青年部

TEL 096-362-1061

FAX 096-366-5090

<http://www.kumashiho.jp/seinenbu/>

部長が思う
青年部は
ここがすごい！

何と言っても青年部最大の魅力は、人脈づくり！
たくさんの仲間と出会い、同じ目標に向かって、保育や制度などなど、その道のプロ達が集い議論が出来る。
何でも話せる青年部です。
まずは、飲み会からの参加も大歓迎です。
入会をお待ちしております。